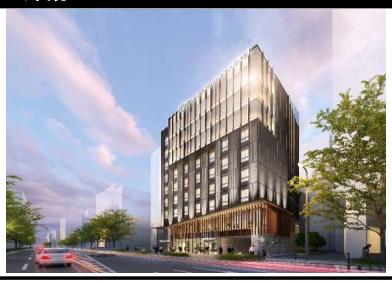
CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2016年版　使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)ダイワロイネットホテル博多冷	階数	地上9F
建設地	福岡県福岡市博多区冷泉町68番1・	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	278 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,ホテル,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月　予定	評価の実施日	2018年5月18日
敷地面積	1,144 ㎡	作成者	大和ハウス工業福岡支社流通一級建築士事務所
建築面積	763 ㎡	確認日	2018年5月21日
延床面積	5,942 ㎡	確認者	大浦　貴浩

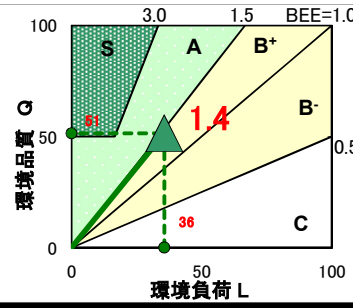
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

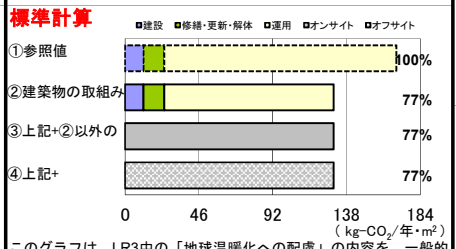
BEE =1.4 ★★★☆☆

S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



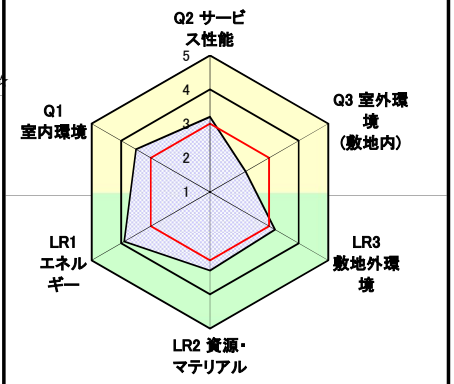
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆　30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

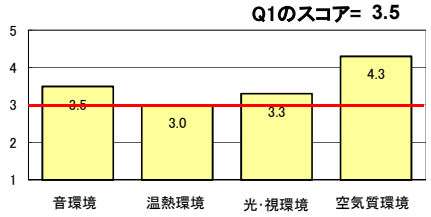
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



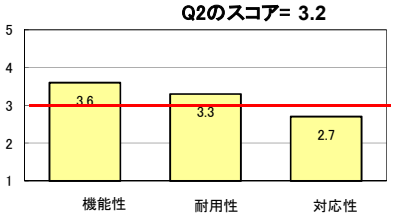
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

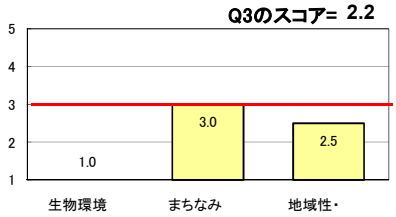
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.5



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.2

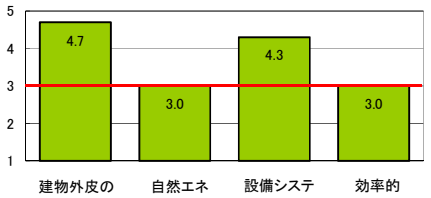


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.2

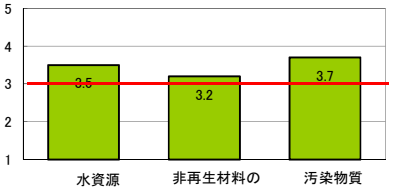


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.5

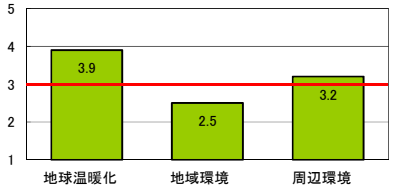
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.9



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.3



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.2



3 設計上の配慮事項

総合		その他
町並みの景観を考慮し、建物を可能な限り整形とし、周囲に調和した建物構成を目指した。		0
Q1 室内環境	**Q2 サービス性能**	**Q3 室外環境（敷地内）**
ガラスは複層ガラスとし、熱負荷を押え、内装材に化学汚染物質を使用せず、室内環境の向上を図った。また、開口部・界壁の遮音性能を高めることで、居住環境にも配慮した	福岡市まちづくり条例を準拠し、バリアフリーな建物とした。また、外部に露出する鉄骨部には溶融亜鉛メッキとし、防錆対策を行った	境界部には連続した塀等を作らずに見通しの良いフェンスをを設けることで 防犯性・防災性に配慮した。
LR1 エネルギー	**LR2 資源・マテリアル**	**LR3 敷地外環境**
建物外皮の熱負荷抑制、設備システムの高効率化により省エネ性能を上げた。	再生水利用システムを採用し、省水型機器を設置することで、節水への取り組みを行った。	省エネによるライフサイクルCO2排出率の低減。 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される